

持続型農業生産技術分野 この1年

持続型農業生産技術分野長 准教授 平田統一

コロナ禍に伴う各種規制が緩和され、実習や外部向けの事業がコロナ禍以前の状況にほぼ戻った2023年になりました。御明神牧場では、2年続けて中止となっていた共同獣医学科の東京農工大学学生の総合参加型臨床実習が再開されました。また、専門技術者に対するリカレントプログラムとして、「経腔採卵-体外牛胚生産技術研修(産業応用編)」を開講し、6名(延べ65名)の宿泊研修を行いました。滝沢農場では、例年の実習に加え、近隣小学校2校の総合的な学習の時間における農場見学を受け入れました。

2023年は不順な気候が続き、リンゴは春先の霜害と猛暑で作柄が極不良でしたが、イネは猛暑を乗り越えて作柄良かったです。また、飼料・肥料・燃料などの価格上昇によって経費が膨らむ中で、牛の販売価格が大きく値下がりました。FSCは、教育・研究活動の副産物としての生産物を販売し、大学に収入をもたらすことも重要な使命になっており、収入の8割を運営資金にすることができます。従って、経費増と収入の下降は持続型農業生産技術分野の運営を困難にします。増収に向けてどのような算段ができるか智慧が試されているところです。



リカレントプログラム
「経腔採卵-体外牛胚生産技術研修(産業応用編)」の実施状況

前号(FSニュースNo.41)でもお伝えしましたが、かねてからの課題であった御明神総合施設の大型改修が2023年3月に竣工しました。教室は1.5倍に拡張し、宿泊室は冷暖房完備、個室も準備しました。トイレは余裕を持った明るい清潔な空間となり、多目的トイレも設置されました。工事後に多少のトラブルはありましたが、施設課等大学の迅速な対応により環境は落ち着きつつあり、多くの宿泊実習やリカレント研修に利用され始めています。

滝沢農場の再雇用職員、村上政伸さんが「ブルーベリー栽培技術の教育普及活動」の功績が認められて全国大学附属農場協議会「令和5年全国大学農場技術賞」を受賞しました。村上さんは故横田 清名誉教授の薫陶を受けてリンゴやブルーベリー栽培の技術を磨き、講習会の講師を務めるなど東北のブルーベリー栽培技術向上に大きな貢献をされました。

今年度は猛暑による山の餌の不足からなのか、御明神牧場では例年に増してクマの目撃情報が増え、滝沢農場でもクマの足跡が見つかるなど、異常な気象に伴う現象が増えています。持続的な農業生産技術を開発するためには地球温暖化にも目配りしなければならないようです。

循環型森林管理技術分野 この一年

循環型森林管理技術分野長 教授 山本信次

循環型森林管理技術分野(演習林)では、通常の森林管理により生産される人工林針葉樹丸太(主としてスギ・カラマツ)に加え、岩手県において蔓延しつつある松くい虫病、ナラ枯れ病に対応するための伐採が行われており、そこから生産されるアカマツ丸太や広葉樹丸太を加え、結果として2,606m³の木材を販売しました。こうして生産されたアカマツの一部は神社仏閣などの文化財などに用いられる優良材として出荷され、好評を博しています。広葉樹に関しては全国的に家具やフローリング材などとしての需要も高まっており、引き続き森林の持続性を当然の前提としつつ、多様な森林を活かして生産を続けていく予定です。

また演習林は文部科学省から「教育関係共同利用拠点」としての認定を受けており、コロナ禍も過ぎ去ったことを受け、全面的に対面での他大学学生を受け入れての実習を行いました。今年度の他大学向けの単位認定に係る授業科目は13科目、利用人数は延べ312人、利用大学は鹿児島大学、岩手県立大学、早稲田大学、立教大学など14校となっています。森林・林業について学ぶ学科等からの学生のみならず、広く自然環境の保全について学ぶ文理を問わない幅広い学生を受け入れることができました。

今年度には宿泊施設である御明神総合施設も改修が終了し、さらには今後の教育関係共同利用拠点認定の更新も見据えて、教育内容の充実や受け入れ人数の拡大に向けて取り組んでいきたいと思っております。

教育研究の場であると同時に森林管理作業や木材生産活動を行うため、危険を伴うこともある演習林の現場ですが、安全第一を旨として、今後ともより良い森づくりに努めてまいります。



2023.8.28 温帯林(里山)の森林植物 [講義と実習] 滝沢



2023.9.1 温帯林の森林生態 [講義と実習] 御明神

村上政伸 技術職員が令和5年度全国大学農場技術賞を受賞

持続型農業生産技術分野 助教 渡邊 学

全国大学附属農場協議会は、農場等の教育・研究支援への貢献及び農場等の活性化に特に功績のあった技術系の職員に対し全国大学農場技術賞を授与している。この度、滝沢農場所属の村上政伸技術職員が、「ブルーベリー栽培技術の教育普及活動」の業績が認められ、令和5年度全国大学農場技術賞を受賞されました。

村上政伸氏は滝沢農場において、40年にわたって寒冷地果樹の栽培管理を担当している。その間、平成12年にはブルーベリーに関する情報交換および技術研鑽の場である「岩手ブルーベリーの会」の創設に関わり、現在まで役員を務めている。村上氏は、同会が主催する冬期講習会において剪定技術の講師を務め、夏期講習会においては滝沢農場で保存する品種・遺伝資源の特性の深い理解に基づいて、地域に適した品種を紹介してきた。また、収集したブルーベリー品種・遺伝資源の保存と栽培とに力を注いだ結果、滝沢農場は農家が品種の現物を目で見て特性を理解するための展示圃場の役割を果たせるようになった。このように、長年にわたり東北のブルーベリー栽培の技術指導の中核を担ってきた村上氏の功績は、岩手県内のみならず東北全体に広く知れ渡り、ブルーベリーの栽培普及に大きく貢献している。今後も滝沢農場が継続して東北のブルーベリーに貢献できるよう村上氏には後進の指導、育成を期待したい。



授賞式の様子

令和5年度 エクステンション活動一覧

● 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの

1) リカレントプログラム[牛のIVP技術研修(産業応用編)]	R5 4月17日(月)～5月2日(火)
2) 令和5年度新牛繁殖技術普及強化事業に係る広域技術者講習会	R5 6月1日(木)
3) 岩手ブルーベリーの会 夏期講習会	R5 6月24日(土)
4) リカレントプログラム[牛のIVP技術研修(産業応用編)]	R5 7月24日(月)～7月29日(土)
5) リカレントプログラム[牛のIVP技術研修(産業応用編)]	R5 7月24日(月)～8月2日(水)
6) 令和5年度現場技能者キャリアアップ対策フォレストリーダー研修(森林整備部門)	R5 8月8日(火)
7) 令和5年度現場技能者キャリアアップ対策フォレストリーダー集合研修(森林整備研修)	R5 9月19日(火)
8) アグリフロンティアスクール「農業技術先進地研修2」	R5 9月28日(木)
9) フォレストワーカー研修 森林作業道作設	R5 11月6日(月)～11月7日(火)
10) フォレストリーダー研修 森林路網計画	R5 11月21日(火)
11) 令和5年度林業技術士養成研修スクーリング研修(間伐技術)	R5 12月6日(水)
12) リカレントプログラム[牛のIVP技術研修(産業応用編)]	R5 12月18日(月)～12月26日(火)
13) JRA令和5年度産業動物分野における学び直し事業研修会	R6 2月21日(水)
14) リカレントプログラム[牛のIVP技術研修(産業応用編)]	R6 2月26日(月)～3月8日(金)
15) 岩手ブルーベリーの会 冬期講習会	R6 3月16日(土)

● 一般市民・児童生徒を対象とするもの

1) FSC共催令和5年度盛岡市中央公民館講座 岩手大学滝沢演習林ツアー「南部アカマツの森を尋ねて」	R5 6月23日(金)
2) 第172回フィールドセミナー(総合学習時間における森林学習(51))	R5 7月4日(火)
3) 第173回フィールドセミナー(総合学習時間における森林学習(52)-技術職員と学ぶ森林作業-)	R5 7月5日(水)
4) 公開講座 第4回大学農場で体験する食と農と生物学	R5 7月26日(水)
5) 総合的な学習の時間における農場見学	R5 10月16日(月)
6) 公開講座 「樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る」	R5 10月22日(日)
7) 総合的な学習の時間における農場見学	R5 11月2日(木)
8) FSC共催令和5年度盛岡市中央公民館講座 岩手大学滝沢演習林ツアー「南部アカマツの森を尋ねて」	R5 11月10日(金)
9) FSC・岩手日報共催 盛岡市林業等事業所・現場見学バスツアー	R5 11月18日(土)～19日(日)

● センター開放的事業

1) 花苗販売会	R5 4月6日(木)
2) ブルーベリー摘み取り	R5 7月10日(月)、7月13日(木)、7月18日(火)、7月20日(木)、7月24日(月)、7月27日(木)
3) 第29回森の駅市場	R5 8月3日(木)
4) 第30回森の駅市場	R5 12月1日(金)
5) リンゴ即売会	R5 12月13日(水)